

職務を自己申告で「見える化」し、付加価値を！

〔職務の「見える化」〕

「見える化（見せる化）」とは、職務の漠然とした部分を、数値等を用いて客観的に判断できる指標等で“見せる”という意味です。自らの職務にプラスαの付加価値を付けていきます。

この「見える化」により、自己の職務目標 → 実施計画（達成状況） → 実施（進捗）状況 → 結果（成果・評価）を明確にし、職務を効果的に進めていきます。

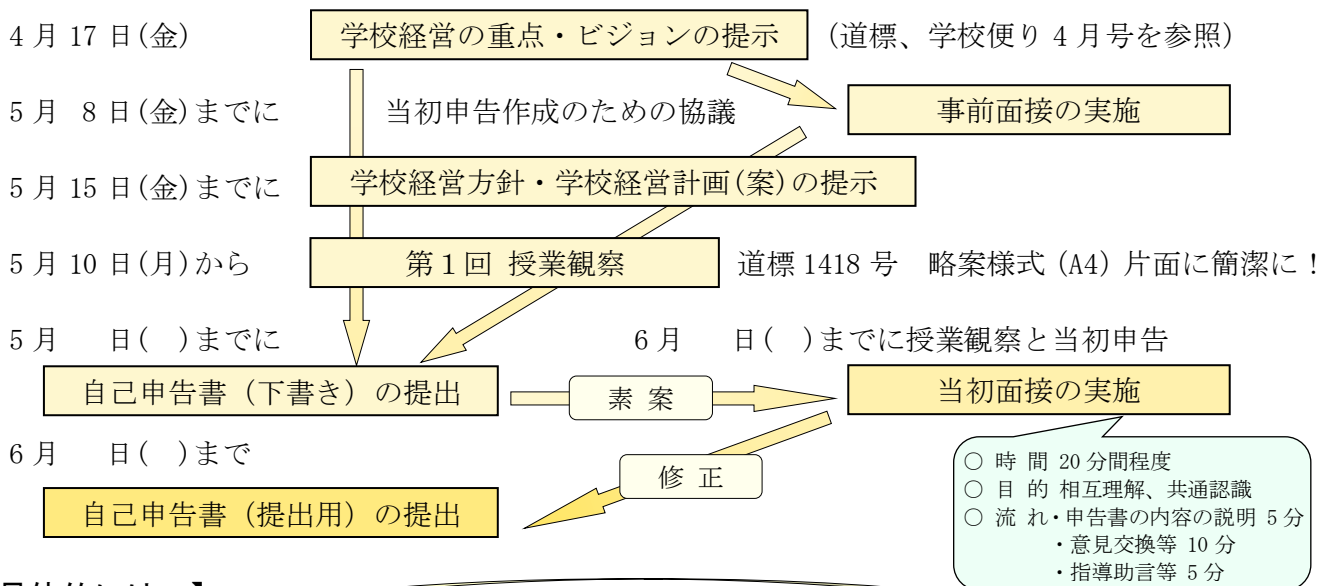
〔書き方のポイント〕

- ① 校長の学校経営方針を踏まえるとともに、自らのビジョンをはっきり打ち出すこと。
- ② 達成可能な目標（頑張れば達成できる目標）を設定すること。
- ③ 目標達成のための手立てを明確にすること（いつまでに、どのように、どの程度）。

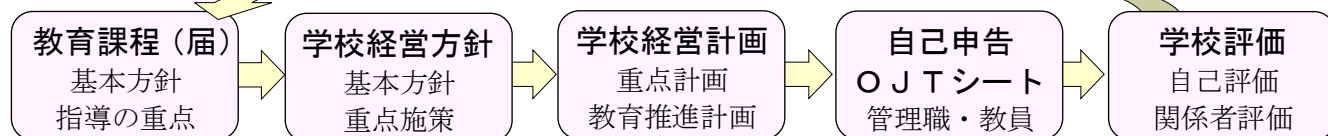
〔当初申告の記入例〕（当初申告）

3 職務目標と…	学習指導	今年度の目標	目標達成のための具体的手立て (いつまでに、どのように、どの程度)	努力目標
		○単位時間の授業のねらいを焦点化し、ねらいを必ず達成できるよう、指導方法を工夫する。	○大型TVを活用し（2学期以降は教室の授業の8割以上で活用）、「何を、どこで、どのように見せるか」など、効果的な学習場面をつくり、毎時間の授業で8割以上の児童に、授業のねらいを達成（B評価以上）させる。	成果目標
4 能力開発		○（学習指導力）大型TVを学習場面に応じて効果的に活用することができる。（自己評価）	○（学習指導力）大型TV活用について、月1回以上、学年主任から指導を受ける（自分の授業実践を記録し、報告する。学年主任の授業を参観する。指導の工夫を提案し、実践する。）	努力目標
				成果目標

〔当初申告のスケジュール〕



〔具体的には…〕



道標 (みちしるべ) 第1420号

令和2年4月28日
校長 稲垣 達也

年6回以上 授業観察用 略案様式 必ず1枚に収める

I 指導略案

第 学年 科 学習指導案 (略案)

日時 年 月 日 () 校時 授業者 教諭:

対象 年 組 コース 名 教室 階 教室

- 1 単元名 本単元のねらいを明確に示す。(教材名)
- 2 単元の目標 学習指導要領の目標、内容に基づいて設定する。
- 3 指導観 単元や教材のもつ教育的意義や指導のポイントとなることを簡潔に示す。
- 4 本時の目標 本時のねらいを明確に示す。どんな力を身に付けさせたいか。
- 5 本時の展開 児童の実態にあった学習活動、指導や助言等の手立て、評価場面と方法等を示す。

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導 入 分			
展 開 分			
まとめ 分			

- 6 本時の評価 1単位時間の授業を通して、どんな学びがあったか、どんな力が身に付いたか。

II 板書計画 (簡略化して書く)

「めあて」と「まとめ (振り返り)」は、必ず板書する。

III 授業の工夫のポイント (この欄を省略して、略案の留意点欄に記載しても可)

【UD】 ユニバーサルデザイン	
【ICT】 ICT (視聴覚) 活用	
【言語】 言語活動	
【他】 その他の工夫	

IV 校長からの事前指導と事後指導の記録

事前

事後